

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策5 政策推進システムの充実
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	統計調査課長 今田 敏朗	電話番号	0852-22-5075
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	商工県単統計調査等事業			
目的	(1) 対象	県、県内経済団体、学術研究機関、民間企業等		
	(2) 意図	県の生産動向を把握する「島根県鉱工業生産指数」を作成・提供し、活用してもらう。		
事業概要	県の生産動向を把握するため、調査対象から毎月生産、出荷、在庫のデータを求め「島根県鉱工業生産指数」を作成・提供する。			

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			調査対象事業者数	目標値			58.00	69.00	
	実績値	57.00	57.00	68.00	68.00				
	達成率			98.30	98.60	98.60		%	
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		単位
		目標値		0.00	0.00				
	実績値	0.00	0.00	0.00				%	
	達成率			0.00	0.00				

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	791	839
うち一般財源 (千円)	791	839

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・調査対象事業者中、1事業所のデータが得られていない。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・事業所を訪問し、本調査の意義や役割を説明して提出を求めた結果、26年度中途からデータが得られるようになった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・26年度中に、1事業所から新たにデータが得られなくなった。
・提出が遅れがちな事業所があり、データが得られなくなるおそれがある。

②困っている状況が発生している「原因」

・事業所によっては、求めるデータを算出するために数字を抽出する手間が加わる。
・事業所の担当者が多忙のため時間がとれない。

③原因を解消するための「課題」

・本調査の意義、役割を理解してもらう。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・未提出、提出遅れの事業所については状況確認等電話連絡を行い、関係性を保つように努める。
・未提出の事業所については、必要に応じて事業所を訪問し、本調査の意義、役割を丁寧に説明し、協力依頼を行っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）